

「介護の日本語」の実践 —対象者と学習項目・学習支援を考える—

講師

三橋麻子氏・丸山真貴子氏

(看護と介護の日本語教育研究会/明海大学・大原学園)

近年の介護業界における外国人従事者の動きや日本語教育に、ますます注目が高まっています。

本研修では、まず、「「介護の日本語」学習対象者となる人にはどのような人が横のつながり」等についても紹介しながら整理します。そして、ワークショップでは、「外国人介護従事者に必要な学習項目」と、「外国人介護従事者への学習支援」について考えていきます。

日本語教育の立場から、どのような支援ができるのか、一緒に考えましょう。学習支援をしてお困りの方からのご質問もお受けします。

日時：2019年12月14日（土）10:00 - 12:00

場所：東北大学川内南キャンパス
文学研究科棟135講義室

参加費：¥500

※事前申込なしの当日参加も可能です。
当日会場にて現金でお支払いください。

対象：どなたでもご参加できます

※医療福祉関係者、外国人介護人材を受け入れている方、これから受け入れを考えている方、現職の日本語教師・日本語支援者、これから日本語教育に携わりたい方、このテーマに興味や関心のある方など、ぜひご参加ください。



本企画は、日本語教育学会主催の東北支部集会の一部として行われます。
支部集会全体のプログラムはこちらからご覧ください：

http://www.nkg.or.jp/wp/wp-content/uploads/2019/10/2019_04_shibupro.pdf
「看護と介護の日本語教師研修」のみのご参加も可能です。

主催：公益社団法人日本語教育学会 共催：看護と介護の日本語教育研究会

問い合わせ先

公益社団法人日本語教育学会 支部活動委員会 事務局Email: shibu@nkg.or.jp